

令和8年7月13日
於：世田谷サービス公社

第2回 世田谷区本庁舎等における区民利用・交流拠点施設 みどり部会

1 開 会

2 挨拶

3 議 題

(1) 報告案件

- ① 開設までのスケジュール及び部会での主な議題について
- ② 実行委員会キックオフ開催及び企画委員会の報告
- ③ 交流スペースレイアウト（相談カウンター）及び区民参加による家具作り
- ④ R9年度市民活動フェアの企画検討状況

(2) 審議案件

- ① オープニングイベント（みどり活動）の企画・検討
- ② 屋上庭園等の区民参加事業について

4 次回の日程等

【配布資料】

- 1 部会各議題資料一式（資料1～7）

世田谷区本庁舎 区民利用・交流拠点施設
みどり部会 委員名簿

資料1

	No	分類	活動ジャンル	氏名	役職・所属団体等
み ど り 部 会	1	中間支援組織	団体支援	荒井 千鶴	公益財団法人世田谷トラストまちづくり
	2	中間支援組織	団体支援	松本 勉	公益財団法人世田谷トラストまちづくり
	3	区内活動団体	みどり	大坪 義明	世田谷みどり33協働会議事務局長
	4	区内活動団体	みどり	湧口 善之	一般社団法人街の木ものづくりネットワーク代表理事
	5	学生(若者)	—	松澤 櫻太郎	東京農業大学
	6	学生(若者)	—	堀 集人	駒沢大学ボランティアサークル(学生ボランティアネットワーク)
	7	行政(代表)	—	北村 正文	庁舎管理担当課長
	8	行政	—	笠原 聡	みどり政策課長
	9	行政	—	伊藤 祐二	市民活動推進課長
	10	運営事業者	—	上遠野 めぐみ	区民交流スペース等運営事業者

区民利用・交流拠点施設 開設までの運営委員会・部会スケジュールと主な議題について

区民利用・交流拠点施設 全体スケジュール 2期工事竣工 令和8年9月18日(予定)▼

▼令和8年11月 区民利用・交流拠点施設 開設予定

年度	令和8年度				令和9年度		
	4～6月	7～9月		10～12月	1～3月	4～6月	7～9月
事業運営委員会	▼4/7 第1回委員会 ・会議の進め方について ・準備会から委員会への引継ぎ議題 ア. 愛称募集（案）について イ. オープニングイベントの検討 ウ. R8年度年間事業計画の共有・承認 ・利用システムについて			▼施設開設 ▼オープニングイベント 11/3～11/23 21日間の実施	▼3月 第3回委員会 ・部会検討状況の共有 ・OPイベント及び施設利用状況の振り返り（日常利用・アンケート結果分析等） ・R9年度「年間事業計画」の検討、確認・承認		
	「利用ルール素案」と予定していた議題は、「利用システム」として微修正。 第1回で予定していた「事業運営法方針の策定」は第2回の議題に変更。	▼8月 第2回委員会 ・R9年度年間事業計画の提案・意見交換（公用・団体利用集約、事業者提案事項） ・R9年度「市民活動フェア」企画（参画）検討 ・愛称募集(案)最終決定 ・事業運営方針の策定（確認事項・区が取組むことを整理）		次年度予算要求		▼5月 第1回委員会（R9年度） ・部会検討状況の共有 ・前年度成果を踏まえた本年度以降の目標及び方針の確認 ・中長期的な課題の検討	
「区民活動・交流」、 「文化・芸術」部会	▼5/12 第1回「区民活動・交流、文化部会」 ・オープニングイベントの企画（参画）検討、全体振付 ・「利用憲章（案）」の検討 ・OPイベントでの課題解決テーマ設定の具体化 ・シード作成検討				▼2月 第3回「区民活動・交流、文化部会」 ・オープニングイベントの振り返り ・利用状況の把握・検討 ・R9年度の施設の活性化に向けた企画・検討 ・R9年度「（仮）市民活動フェア」企画（参画）検討		
	委員会での検討から部会の検討へ変更（具体的な利用をイメージした検討となるため）	▼7/17 第2回「区民活動・交流、文化部会」 ・オープニングイベントの企画・参画検討、全体振付 ・R9年度「市民活動フェア」企画（参画）検討 ・「利用憲章（案）」の確定 ・OPイベントでの課題解決テーマ設定の具体化 ・シード作成検討		次年度予算要求		▼4月 第1回「区民活動・交流、文化部会」（R9年度） ・施設の活性化に向けた企画・検討 ・「（仮）市民活動フェア」企画（参画）検討	
みどり部会	▼5/15 第1回「みどり部会」 ・オープニングイベント（みどり活動）の企画（参画）検討 ・屋上区民花壇等の区民参加事業について				▼2月 「第3回みどり部会」 ・オープニングイベント（みどり活動）の振り返り ・屋上区民花壇等の区民参加事業について ・R9年度の施設の活性化に向けた画・検討 ・R9年度「（仮）市民活動フェア（みどり活動）」企画（参画）検討		
		▼7/13 第2回「みどり部会」 ・オープニングイベント（みどり活動）の企画（参画）検討 ・屋上区民花壇等の区民参加事業について ・R9年度「市民活動フェア（みどり活動）」企画（参画）検討		次年度予算要求		▼4月 第1回「みどり部会」（R9年度） ・施設の活性化に向けた企画・検討 ・屋上区民花壇等の区民参加事業について ・「市民活動フェア（みどり活動）」企画（参画）検討	
実行委員会	▼6/10 実行委員会キックオフ ・オープニングイベントコンセプト ・実行委員長、副委員長、企画委員について						
	▼6/30 実行委員会企画委員打ち合わせ ・オープニングイベント内容 ・役割分担について	▼7/15 実行委員会 ・オープニングイベントコンセプト、テーマ決め ・オープニングイベントスケジュール調整					

審議案件から報告案件へ変更
(具体的な施設利用を基に検討する必要があるため)▼7/13 第2回「みどり部会」
・オープニングイベント(みどり活動)の企画(参画)検討
・屋上区民花壇等の区民参加事業について
~~・R9年度「市民活動フェア(みどり活動)」企画(参画)検討~~

次年度予算要求

第1回 世田谷区本庁舎等における区民利用・交流拠点施設 事業運営委員会区民活動・交流部会及び文化・芸術部会			
開催日時	令和8年5月12日（火） 午後6時30分 ～午後8時30分		場所 梅丘パークホール
出席委員 （敬称略、五十音順）	委員	中間支援組織	尾崎委員、川島委員、菊地委員、松下委員
		区内活動団体	石山委員、河上委員、村井委員
		学生（若者）	酒井委員
		行政	伊藤委員、大谷委員、望月委員
欠席委員	池田委員		
事務局	市民活動推進課		榎本係長、杉藤、工藤
	運営事業者		上遠野施設長、本田副施設長、福永栗本、佐藤、山下、松下
議題	（1）報告案件 ①準備会から委員会への引継ぎ事項 ア．施設運営にあたっての確認事項 イ．準備会での主な議題 ②開設までのスケジュール及び部会での主な議題について ③4月7日事業運営委員会の報告 （2）審議案件 ①オープニングイベントの企画（参画）検討、全体振付 ②利用憲章（案）検討 ③オープニングイベントでの課題解決テーマ設定の具体化 ④広場のマルシェに使用するシェード作成 （3）次回の日程等		

(1) 報告案件

○部会開催背景：

準備会は令和8年度から事業運営委員会へと移行し、11月3日（火祝）のグランドオープンに向け準備を進めている。

事業運営委員会と連動・協力しながら部会でも準備を進めることで確認を行った。

○部会の主要な役割を、委員全員で以下の通り確認した。

- ・施設の魅力と繋がりを高め、利用を広げるための企画支援を行う。
- ・施設の利用状況把握と課題・活性化策の検討をする。
- ・部会メンバーのネットワークを活かした参画体制の拡大を図る。
- ・運営事業者への助言と方向性の提示を行う。

①準備会から委員会への引継ぎ事項

伊藤市民活動推進課長から説明を行い、準備会から事業運営委員会への引継ぎ項目について、以下の通り全委員で認識を共有した。【資料No.3、4】

ア. 施設運営にあたっての基本確認事項

【場づくりに関する事項】

No.1：原則無料・予約不要・営利可能な場づくり

No.2：定期的かつ魅力的なイベントの実施・気軽に立ち寄れる場づくり

【運営方法に関する事項】

No.3：柔軟に見直し（トライ&エラー）が可能な施設運営

No.4：チャレンジ・バージョンアップ・マッチング

【成果・交流に関する事項】

No.5：区民、団体、区職員がオープンな活動に参加し、交流や協働を育み、課題解決に寄与

No.6：区及び運営事業者が中心となって、区民、団体、区をつなぐ

イ. 準備会での主な議題

○施設の位置づけ、機能

令和6年12月から令和8年2月まで計5回開催した準備会で議論している内容について、配布資料4に記載されている旨説明。

②開設までのスケジュール及び部会での主な議題について【資料No.5】

本田副施設長から説明を行い、区民利用・交流拠点施設開設までのスケジュール及び部会での主な議案について、以下の通り全委員で認識を共有した。

1. オープニングイベント期間における公用予約及び参加表明団体の開催希望内容を確認した。

2. オープニングイベント参加団体交流会開催

・開催日：2026年4月26日（日）13：00～

・交流会参加団体数：20団体、参加者25名

（※オープニングイベント参加希望団体数：交流会時点で30団体）

・参加団体が自ら企画を提案し、施設全体で協力しながらイベントを作り上げる体制の検討を行った。

・6つのテーマグループに分かれて意見交換を実施した。

3. オープニングイベント実行委員会の提案

・事業運営委員会及び参加団体より実行委員会設置の要望があったことを受け、実行委員会の活動イメージについて説明を行うとともに、部会委員に対し参画を依頼した。

（２）審議案件

本田副施設長、マッチングコーディネーター福永氏から審議内容について説明を行い、各案件について委員と意見交換を実施した。

審議①：オープニングイベントの企画（参画）検討、全体振付及び・意見交換で見えた課題

○オープニングイベント期間に開催予定のイベント情報共有

- ・生涯現役フェスタ（１１月４日（水））について河上委員より説明。

集客目標：７００人以上

平日初日のイベントとして、１１時～１９時で実施

著名人によるトークショーを１３～１５時に開催

約４０団体によるブース紹介と展示

イーグレットホール（９００人収容）、エントランスホールを使用

- ・文化的協働演奏会（期間中複数開催）について大谷委員より説明。

世田谷アーティストバンク登録アーティスト（クラシック中心、３１組）による演奏

団体同士のコラボ演奏会（１１月２３日（月祝）に３組程度が参加意向）

ラウンジ等様々な場所での演奏

第１０回世田谷国際メッセ・ホストタウンコンサート（１１月１３（金）～１４日（土））

区内大使館・国際交流団体による出展、アメリカに関連するジャズやゴスペルコンサートの実施、文化と国際の取り組みの融合を予定している。

○委員からの区民利用・交流拠点開設に対する意見及び事務局からの回答・要望・課題は以下の通り。

１．意見

- ・汽水域の外側の人たちをどのように巻き込むのか。近隣住民への関わり方。

（回答）交流拠点に関わる間に施設を好きになり、社会参加しているというイメージ。具体的な手法は部会にて議論したい。

- ・区役所周辺の商店街や大学のイベントとコラボできるものがあるかもしれない。

（回答）区役所近隣で開催されるイベントとのコラボも考案しており、実行委員会での取り組み依頼となる。

・障害者団体は参加したい意欲はあるが、何がどのようにできるのか不明なため参加の判断がしづらい。利用できる部屋を事前に見学したい。

（回答）まずは小さい会議から施設を利用してみることも可能。施設の部屋や備品情報は世田谷区のホームページに掲載しているが、利用ルールは利用憲章検討内で完成させていくため現時点での回答はできかねる。

・交流拠点の利用イメージが湧かない。オープニングイベントへ参加表明をした場合、何をどのくらい準備すべきか不明であり、参加団体それぞれの実施内容などをとりまとめる人が必要ではないか。

（回答）実行委員会を発足予定としており、オープニングイベントについて詳細決定を進めていく。

・交流拠点の空間イメージが不明瞭なため、各部屋の詳細を教えてほしい。また平日のイベント開催時、区庁舎に訪れる方との動線を分けた方がいいのではないかな。

(回答) 交流スペース及び会議室について改めて説明。交流拠点は区庁舎に訪れた方へ開放しているが、必要に応じて動線を確保する必要があると考えている。

・イベント実行へのボランティア含めてスタッフ募集するツールとしてSNSを活用すると学生は情報を得やすく、参加のハードルが下がる。

2. 委員からの要望

- ・交流拠点を利用している様子を確認したい。
- ・施設オープン後に、見学ツアーを実施してほしい。
- ・オープニングイベントでは交流拠点の利用可能性が高い団体に対して、大きな内覧会としてまず見学してもらう場があればよい。

3. 審議①の意見交換で見えた課題

①交流拠点の利用傾向

- ・交流拠点の利用意向のある地域及び年代が限定的になってしまうのではないかな。

②集客とボランティア人員に関する懸念

- ・21日間の大規模イベント実施にあたり、各団体の人員確保が課題である。
- ・良い内容のイベントもうまく広報しないと来場者が増えないため、広報サポートを依頼したい。

審議②：利用憲章（案）検討

○検討背景

区民利用・交流拠点の準備会にて、利用憲章について議論を進めてきた。施設の具体的な禁止事項ではなく、交流拠点の理念や方向性を憲章とすることが重要と意見が挙がった。部会では憲章内容案や表現について、整理・検討する。

○憲章の決め方

オープニングイベント期間中、交流拠点を訪れてくれた人たちにも一緒に検討してもらい、フィナーレで発表。

○委員からの主な意見及び提案は以下の通り。

提案

- ・憲章を考えた人が示せると良い。多くの方に憲章について考えてもらうプロセスが大事。
- ・区が利用憲章を決めてしまうと「守るべき決まり」となってしまう。参加者が主体となり、多様な人の声や思いが集まって形になった憲章であることを示すことが大切。
- ・気軽に社会参加できる場をつくり、施設の魅力を感じた方が自然に憲章づくりに参加できる流れを整え、分かりやすい方向性やニュアンスを提示する必要がある。
- ・「憲章」という表現について、参加者が親しみやすいキャッチーな感じがいいのではないかな。
- ・プレーパークや遊び場開放の決まり事など、子ども目線で設定されているものを参考にするのが良いと考える。
- ・「汽水域」という言葉は難しいが、逆にクリエイティブでもあるため残した方がいいのではないだろうか。
- ・「汽水域」について説明できる人を増やしていきたい。

- ・憲章はオープニングイベントが終了後もブラッシュアップされるものと思うため、ある程度堅実な内容にする必要があると考える。
- ・交流拠点の利用に関するアイデア集を作成する。良いと思う項目を抽出し、具体的な内容にするための議論をしていく。アイデアボックスのような、みんなの思い付きを集める場所があると良い。
- ・「憲章」という言葉が固く、内容をイメージしづらいため、分かりやすい表現に言い換えるのはどうか。
- ・まずは交流拠点の目指すイメージを固めた方が良い。
- ・ユニバーサルデザインの考えも取り入れてもらいたい。

※審議③：オープニングイベントでの課題解決テーマ設定の具体化については、次回の部会での検討事項とする。

審議④：広場のマルシェに用いるシェード作成

- ・伊藤市民活動推進課長から広場でのマルシェ開催時に、日陰を作るためのカラフルなシェードを区民参加で作成したい旨の説明があった。青山ファーマーズマーケットのような雰囲気づくりが目指される。
- ・次回部会（7月）にて各委員から区民参加型シェード作成のアイデアを持ち寄り、プレゼンと審議を予定。

（3）部会での確認事項

1. オープニングイベント実行委員会の設置を決定し、事業運営委員会、部会、参加団体で構成とし、各委員と参加団体から実行委員会への参加を募る。
2. 利用憲章の構築方法として、オープニングイベント期間を活用し、参加者の意見を反映させながら協働で作成する。
3. 情報共有ツールにコミュニケーションアプリ（スラック）の導入を予定。進捗状況の随時共有を実現していく。
4. 次回区民活動・交流部会及び文化・芸術部会を7月中旬に開催し、オープニングイベントの具体的なアイデア発表の時間と広場のマルシェに用いるシェードの区民参加型作成案について石山委員をはじめ各委員よりプレゼンしてもらいたい旨を事務局より案内した。

第1回「区民活動・交流」の「文化・芸術」部会

2026.5.12

②梅上パーキング

1 会議の進め方 x 10 | 答 → 合議制で進めたい

2 引き続き事項

- ① 原則無料・予約不要
- ② 立ち寄り / 賑い
- ③ トイレ & エラー
- ④ 和しんじ・バージョニア・マニエリ
- ⑤ 区長 団体 聴取 & 交流 (汽水場)
- ⑥ (24) - (24)

準備会
での
中ロエ
深の心は
基礎作り

お礼の
カード
作成
中

誰か
定めた方
大に

こういう
人達の
思いが
形に
なると
大に

人気が高い大の
満ちたのには
このタイミングで
大に

3 部会のあり方

- ・おのづから
・憲章のあり方
・この部会の
運営 活性化 課題
への取り組み

おのづから
大に

11/3 ~ 11/23

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

愛称募集
中

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

全体
ポスター
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづから
大に

おのづ

世田谷区本庁舎等における区民活動・交流拠点

第1回オープニングイベント実行委員会

<日時>

2026年6月10日 18:30～20:30

<場所>

梅丘パークホール、オンライン配信

<実行委員会参加者>

神田由佳(委員長)、池田恒一郎(副委員長)、市村元(企画委員)、河上勇(企画委員)、
 権守朋子(企画委員)、下村一(企画委員)、藤原直美(企画委員)、中井深雪(企画委員)、
 齋藤啓子、森井薫、高橋亜子、長谷川彩子、村井やよい、高橋和光、長谷川周、酒井希
 埜、鈴木景子、男鹿芳則、松澤櫻太郎、井上寿純、石山恭子、松田妙子、中田希衣、藤岡
 昭、榎本香、堀集人、岡田美江子

<事務局>

○世田谷区役所市民活動推進課

中西部長、伊藤課長、榎本係長、杉藤、工藤

○運営事業者

上遠野施設長、本田副施設長、栗本、佐藤、西原、山下、松下、福永、川崎、千葉、市川

<議題>

- 1 開会・挨拶
- 2 区民利用・交流拠点施設について
- 3 実行委員自己紹介
- 4 意見交換
 オープニングイベントコンセプト
 実行委員会委員長・副委員長について
- 5 次回に向けて

<区民利用・交流拠点施設について>

○施設概要

- ・令和8年(2026年)11月開設予定の区民利用・交流拠点施設
- ・東2期棟1階の区民交流スペース、中庭広場を中心とした施設
- ・「区民自治と協働・交流の拠点としての庁舎」を実現

○施設の主な構成

- ・区民交流スペース(東棟1階):運営時間9時～22時
- ・区民交流室(西棟2階、東棟2階):運営時間9時～22時
- ・広場、ピロティ(東棟1階):24時間通行可能、活動は9時～17時
- ・屋上庭園(東棟6階):運営時間9時～17時
- ・エントランスホール(東棟1階):運営時間9時～22時

<意見交換①:オープニングイベントコンセプト>

○オープニングイベント期間

令和8年11月3日～23日(21日間)

○オープニングイベントに関する意見交換

①みんなに来てもらうためには？

・「汽水域」

17時以降も利用ができるため、区の職員にも積極的に参加してもらう

屋上庭園でランチ(主に土日祝日)

・口コミで広げていく

若い世代に来てもらうために、学生団体にコンタクトを取り、サークル単位で誘致

・インクルーシブなまちづくりの見本(多様性を大切にする)

模範となるようなイベント(スタンプラリー)

混雑していると行きづらい人もいるため、招待制の工夫も大切

人が多すぎると疲れてしまう人のための対策や休憩スペースも必要

・科学をテーマにした取り組みもしたい

・子どもに来てもらいたい＝子どもが主体になれるイベントを企画したい

子どもゆめ横丁(川崎市／子どもの手作り屋台)、こども霞が関を参考にしてみる

・会場の作り方も工夫次第

パネルとビニールシートで仕切りを簡単に作成可能

・音楽、エンタメ団体同士で連動・コラボさせる

②つながりをつくるためには？

・開かれた区のイメージをつくる

・オープニングイベントのタイトルやキャッチコピーをつくる

・テーマをくくってみる

週ごとのイベントテーマ

様々な世代が分断されずに参加できるテーマにする

イベント期間が長いため、テーマでくくることが大事

イベントテーマを分けることで対象者も明確になり、広報しやすくなる

・子育てメッセを一か所に集約する

地域に分散しまった企画を一か所に集約し、出展者を募る

・イベントスケジュールや出店のトーンを整理した方が良い

メリハリができる

賑わうイベント、穏やかなイベントなど分ける？

・区の事業とすり合わせる

区の企画と共同実施できるような内容を考えてほしい

③世田谷区で考案している企画

・広場でのマルシェ開催と装飾制作

広場で開催するマルシェで使用するシェードを区民参加で作成予定

区民活動部会の委員がサポートしながら、区民と一緒に装飾を制作

制作した装飾はマルシェ期間中に使用し、雰囲気づくりに活用

・手作り家具の制作

広場に設置するベンチやテーブルなどの手作り家具を区民と民間事業者のコラボレーションで制作

イベント時には屋台として活用する計画

日常的に屋外に設置することの安全性や管理負担について今後検討が必要

オープニングイベント開始時から 11 月のオープニングイベントまで継続して実施

<意見交換②:実行委員会の体制>

○委員長・副委員長の選出

・委員長:神田由佳(ワクワクぼうさい)

・副委員長:池田恒一郎(SUNDRED 株式会社)

○企画委員の選出

・市村元(一般社団法人あぴラッキー)

・河上勇(生涯現役フェア実行委員長)

・権守朋子(ごんちゃんとおかたづけ)

・下村一(希望丘青少年交流センター「アップス」)

・中井深雪(特定非営利活動法人心のおしゃべり音楽工房)

・藤原直美(ワクワクぼうさい)

合計 8 名(委員長・副委員長・企画委員 6 名)が中心的に活動を推進する体制

○委員長・副委員長の抱負

神田委員長

・委員長が全てを引っ張るのではなく、皆で一緒に進める

・皆の力を借りながら世田谷区が盛り上がる地域になることを目指す

・11月まで実行委員会全員で協力して開催したい

池田副委員長

・5ヶ月の長丁場となるが、一人一人が当事者意識を持つことが重要

・イベントならびに世田谷区を盛り上げていく

○役割分担と運営方針

・スケジュール管理、オペレーション、システム企画、マーケティングなどの役割検討

・具体的な仕事内容や承認フローが不明確であるとの指摘があった

・少人数の企画委員で素案を作成し、全体会議で検討する方針に決定

・来週火曜日までに第 1～第 3 希望の役割分担を決定することとした

<情報共有ツール(Slack)の導入>

・実行委員会メンバー全員を 運営事業者栗本より Slack に招待

・LINE のような感覚で使用可能

・対面・オンライン双方で参加できない方への情報共有ツールとして活用

・無料版を使用するため、ファイルやテキストは 90 日間で消去される

・重要な資料は各自でダウンロード保管することを推奨

・DM 機能は最小限に留め、オープンな情報共有を心がける

・利用ルールをすでに掲載しているため、招待承認後に確認

<広報(イベントチラシ)スケジュール>

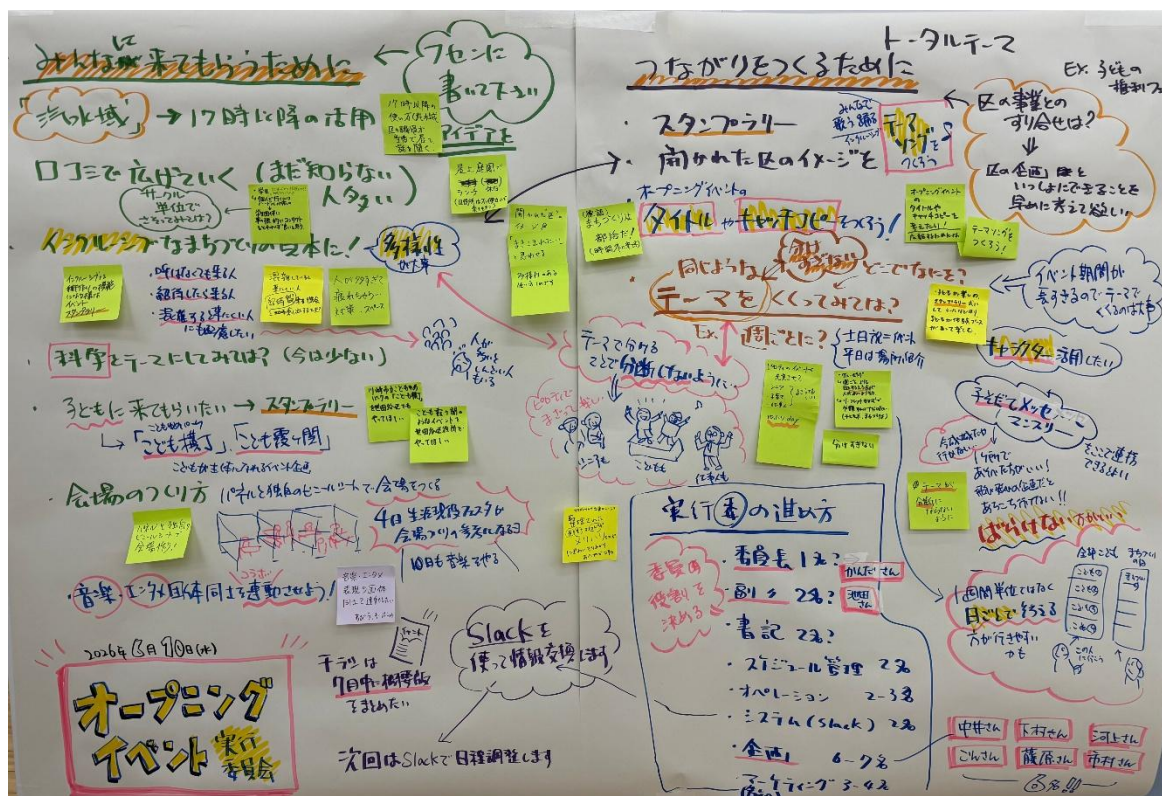
- ・9月上旬納品で区内掲示板へ掲示予定
- 7月中に概要版チラシの内容をまとめる必要がある
- ・チラシ掲示後、Instagramなどで続報を発信していく

<決定事項>

- ・委員長に神田由佳(ワクワクぼうさい)、副委員長に池田恒一郎(SUNDRED 株式会社)が就任
- ・企画委員として6名が選出され、合計8名体制で活動を推進
- ・Slackを情報共有ツールとして導入
- ・次回開催日程はSlackで参加者の都合を確認して決定
- ・対面とオンラインの両方で実行委員会を開催
- ・少人数の企画委員で素案を作成し、全体会議で検討する方式を採用
- ・実行委員会の予算はない(施設側でチラシ等の広報ツールは準備)

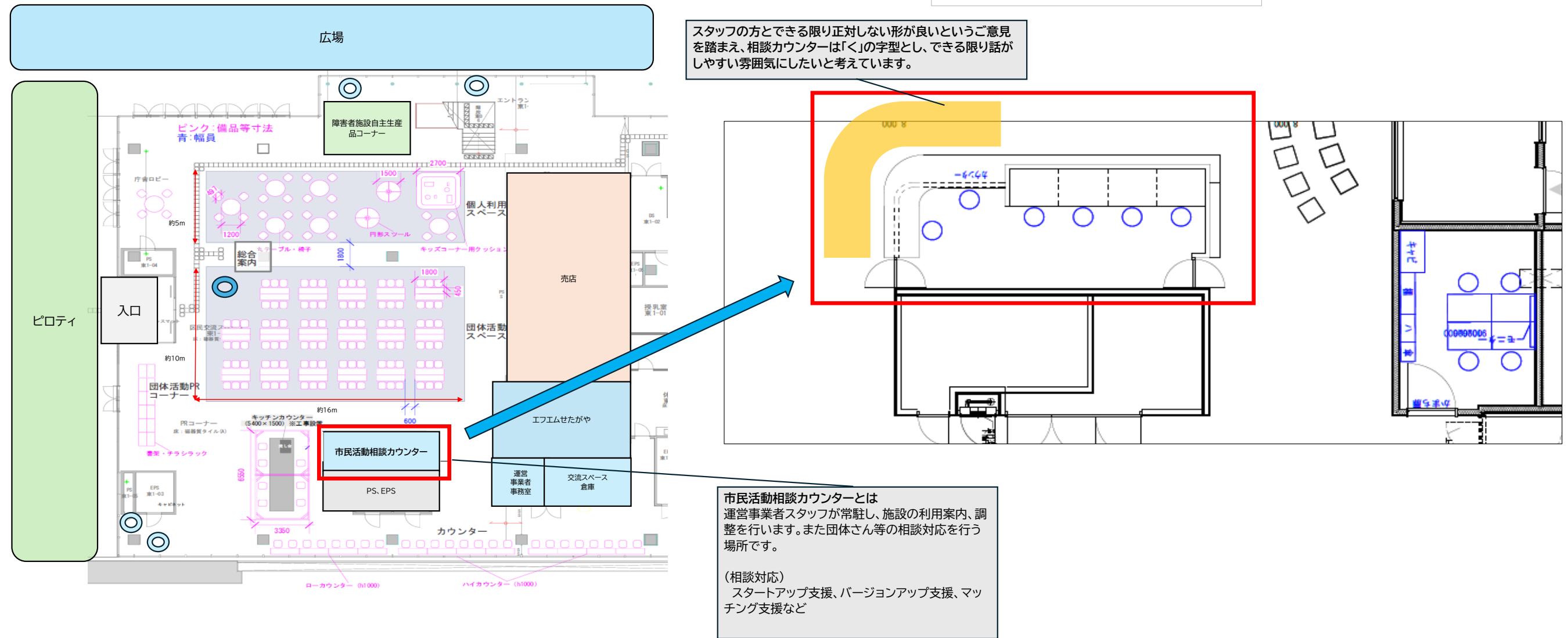
<今後の予定>

担当者	内容	期日
栗本	全メンバーに Slack 招待を送信	近日中
全メンバー	第1～第3 希望の役割分担を決定	来週火曜日まで
事務局	Slack で次回開催日程の都合確認を実施	Slack 導入後速やかに
企画委員	概要版チラシの内容をまとめる	7月中
委員長・副委員長・企画委員	素案を検討し、次回全体会議で検討	次回会議まで



【区民交流スペース レイアウト】

市民活動相談カウンター 詳細図



第1回 世田谷区本庁舎等における区民利用・交流拠点施設 事業運営委員会 みどり部会			
開催日時	令和8年5月15日（金） 午後6時30分 ～午後8時30分		場所 梅丘パークホール
出席委員 （敬称略、五十音順）	委員	中間支援組織	公益財団法人世田谷トラストまちづくり 荒井委員
			公益財団法人世田谷トラストまちづくり 松本委員
		区内活動団体	大坪委員、湧口委員
		学生（若者）	堀委員、松澤委員
		行政	伊藤委員、笠原委員、北村委員
事務局	市民活動推進課		榎本係長、杉藤
	運営事業者		上遠野施設長、本田副施設長、福永 栗本、佐藤、山下、松下
議題	（1）報告案件 ①準備会から委員会への引継ぎ事項 ア．施設運営にあたっての確認事項 イ．準備会での主な議題 ②開設までのスケジュール及び部会での主な議題について ③4月7日事業運営委員会の報告 （2）審議案件 ①オープニングイベント（みどり活動）の企画（参画）検討、全体振付 ②庁舎の緑化状況と区民参加について （3）次回の日程等		

（１）報告案件

○部会開催背景：

本部会は、１１月３日（火祝）にグランドオープンする区民利用・交流拠点施設の開設に向け、準備会で整理された方針・検討内容を引き継ぎ、事業運営委員会と連動・協力しながら運営や活用方法を具体化することを目的として設置されたものであり、委員全員で以下の主要な役割を確認した。

- ・施設の魅力と繋がりを高め、利用を広げるための企画支援を行う。
- ・施設の利用状況把握と課題・活性化策の検討をする。
- ・部会メンバーのネットワークを活かした参画体制の拡大を図る。
- ・運営事業者への助言と方向性の提示を行う。

①準備会から委員会への引継ぎ事項

伊藤委員から説明を行い、準備会から事業運営委員会への引継ぎ項目について、以下の通り全委員で認識を共有した。【資料No. 3、4】

ア．施設運営にあたっての基本確認事項

【場づくりに関する事項】

No. 1：原則無料・予約不要・営利可能な場づくり

No. 2：定期的かつ魅力的なイベントの実施・気軽に立ち寄れる場づくり

【運営方法に関する事項】

No. 3：柔軟に見直し（トライアンドエラー）が可能な施設運営

No. 4：チャレンジ・バージョンアップ・マッチング

【成果・交流に関する事項】

No. 5：区民、団体、区職員がオープンな活動に参加し、交流や協働を育み、課題解決に寄与

No. 6：区及び運営事業者が中心となって、区民、団体、区をつなぐ

イ．準備会での主な議題

○施設の位置づけ、機能

令和６年１２月から令和８年２月まで計５回開催した準備会で議論している内容について、配布資料４に記載されている旨説明。

②開設までのスケジュール及び部会での主な議題について【資料No. 5】

本田副施設長から説明を行い、区民利用・交流拠点施設開設までのスケジュール及び部会での主な議案について、以下の通り全委員で認識を共有した。

１．オープニングイベント期間における公用予約及び参加表明団体の開催希望内容を確認した。

２．オープニングイベント参加団体交流会開催

・開催日：２０２６年４月２６日（日）１３：００～

・交流会参加団体数：２０団体、参加者２５名

（※オープニングイベント参加希望団体数：交流会時点で３０団体）

- ・参加団体が自ら企画を提案し、施設全体で協力しながらイベントを作り上げる体制の検討を行った。

- ・6つのテーマグループに分かれて意見交換を実施した。

3. オープニングイベント実行委員会の提案

- ・事業運営委員会及び参加団体より実行委員会設置の要望があったことを受け、実行委員会の活動イメージについて説明を行うとともに、部会委員に対し参画を依頼した。

(2) 審議案件

本田副施設長、マッチングコーディネーター福永氏から説明を行い、各審議案件について委員と意見交換を実施した。

審議①：オープニングイベント（みどり活動）の企画（参画）検討及び意見交換で見た課題

○委員からの主な意見及び提案に対する事務局からの回答、要望・意見交換から出た課題は以下の通り。

1. 意見及び提案

- ・交流拠点のオープニングイベントの立ち位置として、どのような方向で考えているのか教えてほしい。

（回答）：実働部隊としての実行委員会にてオープニングイベントを進めていく。部会は実行委員会で出た具体的なイベントアイデアに対して進言や助言をお願いしたい。

- ・屋上庭園に対する目標や方向性、どのような屋上庭園にしたいかビジョンが不明確。

（回答）：屋上庭園に限らず、交流拠点はインキュベーション施設をイメージしている。多くの団体の役に立つ施設にしたいと考え、施設に集まる人々が多岐にわたり活動できる実践の場にしていきたい。

- ・区民花壇に植える花は、区民に花を選択してもらうのか。

（回答）：現在ワークショップを開催しながら実施方法を検討中である。種類は決定していないため、花をそれぞれ持ち寄ることなど含め運営を考えている。

- ・屋上庭園だけでなく庁舎周辺のケヤキ並木や広場を含めた交流拠点全体として、みどりを通じた活動のハブとなることを期待する。

- ・屋上庭園含め区庁舎をみどりの学び場として提供できるのではないかと。

- ・みどり活動を区民に知ってもらうため、各農業公園の余剰作物を交流拠点に持ち寄り、配布が可能である。

- ・みどり団体は既存の活動フィールドがあることや活動資源の制約があるため、拠点側からの誘致だけでなく、世田谷らしいものが垣間見える仕掛けづくりが必要である。

- ・屋上庭園を利用して、何かしらの求心力を見出した方が良い。

- ・屋上庭園含め、植栽に関する区民参加の具体的な方法と範囲が不明確。

- ・区民花壇ではなく畑にし、世田谷らしさを前面に出せる野菜を取り入れるといいのではないかと。

- ・世田谷らしいものが垣間見える仕掛けづくりをみんなで考える必要がある。
- ・屋上花壇の花の植え替えを定期的に行うことで、季節の模様替えを楽しめる。

2. 要望

- ・交流拠点内に、みどり関係団体の活動PRする場を設けたい。
- ・屋上庭園の樹木に関する情報発信することで、興味を示す団体が増える。
- ・「落ち葉ひろいりレー」を区庁舎も会場にし、オープニングイベントにドッキングすることによりPRにもつながる。

3. 意見交換で出た課題

- ・オープニングイベントの具体的な目標設定と継続性の確保が困難なのではないか。
- ・みどり団体は各団体が活動フィールドでの課題対応に取り組んでおり、予算や人員の制約もあることから、区庁舎屋上庭園での企画への参画はハードルが高いのではないか。
- ・屋上庭園管理を1つの団体だけが担うことがいいことなのか。

審議②：庁舎の緑化状況と区民参加について

北村委員より庁舎敷地の緑化の概略、東棟屋上庭園の設計コンセプトを説明した。また、これまで庁舎管理担当課で実施したワークショップを紹介するとともに、今後区民参加を促すための策を検討した。

委員からの主な意見及び提案に対する事務局からの回答、要望・意見交換から出た課題は以下の通り。

1. 意見及び提案

- ・区民が「見て楽しい」と思える花壇にするため、花が咲いた状態で花壇に植える方法の方が退屈な場所に見えないのではないか。

（回答）：区民花壇の方針については検討中であるが、ポットを花壇に植えるか種を蒔いて一から育てる方法の2種だと考えている。

- ・区民団体及び区民が長く参加可能な具体的な施策を実施した方が良い。
- ・マイクロコモンズ（小規模な管理・利活用）とすることで区民にも責任をもって花壇の財産管理を担ってもらいたいが、みどり団体にも協力してもらう必要がある。
- ・庭づくりや剪定に興味を持つ若者も多数いるため、大学の授業や実習の場として区庁舎を活用し、みどりイベントに学生ボランティアに参加してもらうことで若年層の参加が増え担い手に繋がるのではないか。
- ・屋上庭園を責任をもって管理していくためには、まず適切な運営体制を整えたうえで、地域のみどり活動に関心のある団体や個人に参画を呼び掛ける必要がある。

2. 要望

- ・エディブル野菜等の活用は魅力的であり、屋上庭園で育てた野菜を活用した料理をふるまうイベントも開催していきたい。
- ・屋上花壇に区民が植えた草花の情報をキャッチーに掲示することで、活動の広報と花壇の様子を把握することができるのではないか。

・みどり関連のボランティアに関して、みどり活動に若い世代が関心を持つきっかけになる可能性があるため参加したい。

3. 意見交換で出た課題

- ・区民参加によるワークショップ形式での植栽活動を実施する方向性を確認したが、区民参加型の屋上庭園として誰が維持管理含め担っていくのか。
- ・みどり活動に参加したいと考える人は多数いるはずだが、日常管理や運営側との関わり方に不安を抱く人も少なくないため、屋上庭園施策へ参加を促す広報が課題となる。
- ・動画やSNSで広報活動を実施しているが、広く周知できずに活動参画までに至らない。

(4) 審議による決定事項

1. オープニングイベント実行委員会の設置を決定し、部会メンバーからの参加を募ることとした。
2. 屋上庭園の花壇について、区民参加によるワークショップ形式での植栽を検討し、季節に応じた植え替えを実施することを目指す。
3. 緑化活動における市民団体との連携を強化し、各団体の専門性を活かした協働事業を推進する必要があることを認識した。
4. 次回みどり部会を7月中旬に開催し、オープニングイベントの具体的なアイデアについて部会委員よりプレゼンしてもらう時間を設けることとした。

項目	令和7年度										令和8年度										9年度				
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月				
全体スケジュール	▼第4回準備会（8月27日） ・概要、実施方法等について 意見集約 ●庁内（外郭含む） 公用申請受付・調整 ●区内活動団体向け 周知・参加受付開始										▼第5回準備会（2月） ・予算及び委託仕様を 踏まえ、進め方等の 再調整・決定 ▼第1回委員会（4/7） ▼第2回委員会（8月） ▼第1回各部会（5/12,15） ・内容の確認・検討 ▼第2回各部会（7/13、15） ・内容の確認・検討 団体との利用調整 施設全体を活用した区民参加型事業の検討 （案 屋外用のシェードの作成） 周知・PR										施設開設・オープニングイベント	▼第3回委員会（3月） ▼第3回各部会（2月） ・出店内容の確認・検討 令和9年度市民活動フェアイベントの検討			
参加申し込み団体、区公用事業との調整	進め方、考え方 企画段階から団体へ参加を 促し、区と団体と協働で作り 上げていく。 ▼1/8参加団体へ申し込み状況や 今後の進め方等をメール ▼3/4参加団体へのイベントの説明、 意見交換（対面またはリモート） ▼4/26参加団体と区の顔合わせ、 交流会等にて企画内容を具体化 ▼7/15実行委員会 イベントコンセプト・テーマ、スケジュール検討 区と運営事業者がニーズや部会等の意見を踏まえ、 実行委員会とイベント全体を利用調整 ▼6/10実行委員会キックオフ対面開催 ・オープニングイベント案意見交換 ・委員長、副委員長、企画委員が決定 ▼6/30実行委員企画委員会オンライン開催 ・区、事業者と実行委員会の関わり方確認 ・7/15実行委員全体会検討内容確認 ▼実行委員会 8月以降 ・対面またはオンラインにて打合せ ・実行委員会にてイベント利用調整 区公用事業とマッチングした団体とをつなぐ（協働）																				イベント終了後も、定期的に交流を図り、 令和9年度市民活動フェアイベントの参加や 継続的な施設利用を促す。				
愛称募集	進め方、考え方 ○施設がまだなく、応募者がイメージしづらいことから、施設開設とあわせ募集し、令和8年度末までに決定する。 ○仮称を委員会で決定し、考える一助にさせていただく 案 施設全体⇒協働プレイス 屋内⇒協働ラボ 屋外⇒協働スクエア 屋上⇒協働ガーデン ▼1/9～16準備会委員に事前の意見集約 ▼第5回準備会にて意見集約状況報告 ▼第1回事業運営委員会（4/7） 愛称募集（案）の確認・検討 ▼第2回事業運営委員会（8月） 愛称募集（案）の確定 委員会での検討から部会の検討へ 変更（具体的な利用をイメージした 検討となるため）										▼第3回委員会（3月） と同日に選定委員会を実施し、愛称決定 愛称決定後、サイン等の変更 ロゴ等の作成										愛称募集（施設見学可）	選定			
（仮称）利用憲章	進め方、考え方 ○施設の意義や理念を理解いただくため、禁止行為や遵守事項ではなく、（仮称）利用憲章を作成し、施設に掲示する。 ○作成にあたっては、委員会で素案をまとめ、オープニングイベント期間中に区民参加のワークショップにて複数回検討し、オープニングイベントフィナーレイベント時（11月23日最終日）にお披露目する。 ▼第1回各部会（5/12） ・素案の確認・検討 ▼第2回各部会（7/17） ・素案の確定 ▼利用受付開始（8月） 利用案内配布、利用受付システム公開 利用ルール検討、利用案内、利用受付システム構築										▼第3回委員会（3月） と同日に選定委員会を実施し、愛称決定 愛称決定後、サイン等の変更 ロゴ等の作成										複数回WS⇒決定	施設内に掲示、団体登録等の際に説明			

▼その他、特定の課題（ごみ処理や紙のデジタル化）への対応や、イベント期間中の活動内容や結果、反省点等について団体から団体へ引き継いでいくような企画も検討する。

資料6―2は
非公表

資料6—3は
非公表

オープニングイベントに関する提案

本庁舎等における区民利用・交流拠点施設事業運営委員会 みどり部会
第2回部会(2026年7月13日)

1. 世田谷落ち葉ひろいりレー2026 @世田谷区本庁舎
2. グリーンアップサイクル・プランターの広場への設置イベント
3. 区のみどり関連事業の紹介イベント

大坪義明

1. 世田谷落ち葉ひろいりレー2026 @世田谷区本庁舎



世田谷落ち葉ひろいりレーは、それまで成城地区で続いていた活動を世田谷区内の他地区にも広げるべく、2015年にスタートしました。

当初、わずか6会場で始まった「世田谷落ち葉掃き」は、翌年には現在の「世田谷落ち葉ひろいりレー」に名称を改めて8会場で実施し、以後毎年少しずつ規模を拡大しながら、現在では20数会場で計50回に上る催しに、毎年延べ1,000人以上が参加するようになりました。

記録的な猛暑に見舞われ、豪雨などの自然災害が全国で多発した2024年でしたが、みどりに対しては自然の力で気候変動の猛威に対抗する動きがある、たいせつな「グリーンインフラ」です。

世田谷落ち葉ひろいりレー2024は世田谷みどり33協働会議と世田谷区みどり政策課との協働事業です。



後援: 世田谷ポータル都市文化交流協会

世田谷落ち葉ひろいりレーとは

2015～2019年 世田谷区提案型協働事業として実施
2020年以降は、みどり政策課と世田谷みどり33協働会議の協働事業として実施

【実施概要】

例年11月～12月の期間に全20以上の会場で延べ約50回1000人以上の参加を得て実施

各会場での実施内容は、会場ごとの主催団体が会場特性を考慮し企画・運営

人数: 数名～100名超まで

実施内容: 落ち葉清掃に加え、焼き芋・自然見学会・交流会実施

時間: 1時間から半日まで

イベント実施プラン

- 開催日時: 11月中の週末(土日)の1日・午前10時～
- 必要な設備・備品: 清掃用具(公園管理事務所または世田谷みどり協働会議で支給)
- 想定参加人数: 50名?
- 運営体制: 主催団体の探求／安全管理のための見守り要員確保

1. 世田谷落ち葉ひろいりー2026 @世田谷区本庁舎

この1年の
みどりの恵みに
感謝を込めて。



19公園 若林・峰松（ほうしょう）緑地
タヌキの生息地でもあるまちなかの貴重な自然資産。地元民を中心とする有志が、管理と利活用の可能性を追求しながら奮闘中です。



①寺 社 北烏山・高源院

烏山寺町を構成する26の寺院の中で、最も北に位置する高源院は、烏山の鴨池として知られる弁天池が、せたがや百景に選ばれています。本堂前の日本庭園も見ものです。



中止

⑧団 地 南烏山・コーシャハイム千歳烏山9～12号棟付近



炊き出し
訓練

毎月、コミュニティガーデン活動を実施している会場での実施です。11号棟に設置されている非常用窯で、炊き出し（芋煮）を行うなど、今年は防災訓練を同時開催します。

⑬街路樹 成城・サクラ並木〔北〕地区

⑭街路樹 成城・成城学園イチョウ並木

⑮街路樹 成城・サクラ並木〔南〕地区

みどり豊かな成城の街並みをより一層魅力的にしているのは、長年、住民に愛され、大切にされてきた街路樹の存在です！



⑯公園 成城四丁目緑地

国分寺崖線の斜面地に位置する樹林には、サクラやアカマツの木々やミツバツツジの群落があります。ふだんから市民有志が守るみどりを、一緒に。



⑨市民緑地 成城三丁目崖（はけ）の林

地域の昔の字（あざ）名である「ハケ」と国分寺崖線の斜面林であることから「崖」の文字をとり名付けられた現地は、多くの落葉樹でいっぱいです。



②寺 社 喜多見・慶元寺

喜多見四・五丁目一帯は東京都の「農の風景育成地区」指定第一号地で、なつかしい世田谷の原風景をいまに残しています。焼き芋もアリ！写真は隣接する喜多見農業公園から望む、慶元寺の三重の塔とみどり。



⑩私有地 喜多見・にこり屋の櫓

喜多見で古くから造り酒屋を営む旧家に保存樹林の指定を受けた20本ものケヤキが植えられています。本年は11月中に計6回開催します。



⑪広場と緑道 代田・下北線路街

小田急線の地下化によって生まれた地上スペースは、下北線路街と呼ばれる世田谷の newName になりました。樹種の多さが、この空間の大きな特徴であり、魅力です。



⑫公園 瀬田四丁目旧小坂緑地

国分寺崖線の斜面樹林の園内に指定有形文化財「旧小坂家住宅」と、紅葉と竹林が美しい湧水の流れる庭園があります。



⑤寺 社 瀬田・玉川神社

従来、等々力の玉川神社で実施してきましたが、一昨年から瀬田の同名神社が加わりました。崖線地形を生かした素晴らしい立地です。



⑫公園 玉川野毛町公園拡張予定地

区では現在、区民との協働の公園づくり「玉川野毛町パークらぼ」に取り組んでいます。拡張予定地は、国家公務員宿舎の跡地で、大きな樹木がたくさん残っています。



このマークの会場で、
焼き芋を実施します！
詳細は「開催場所・団体一覧」を参照してください。

③寺 社 豪徳寺・豪徳寺

町名にもなっている、世田谷を代表する名刹の一つ・豪徳寺。近年は、「招き猫」が知れ渡り、海外からの訪問客も増えて、区内有数の観光スポットとなっています。



⑫公園 三宿の森緑地

公園を、市民有志が自主的に管理しています！落ち葉溜めにたくさんの落ち葉を溜めて、腐葉土を作り、公園管理に活かしています。



④寺 社 下馬・世田谷観音



世田谷区指定保存樹林地であり、せたがや百景にも選定されています。落ち葉焚きと焼き芋のアトラクションがあります！

⑬街路樹 上用賀・サクラ並木

⑭街路樹 桜新町・サクラ並木ほか



世田谷にはたくさんサクラ並木がある！

上用賀の並木はすばらしい。一方、桜新町の光景は、世田谷区の「みどりの基本計画」でも写真入りで紹介されています。

⑫私有地 等々力四丁目樹林

世田谷の原風景のひとつ、屋敷林の面影を今に残す現地は、ケヤキの巨木が何本もそびえ立ち壮観で、映画の舞台となりました。

⑦寺 社 等々力・玉川神社



境内には保存樹木「とっくりクス」をはじめとした巨木が多数。神社のすぐそばには、満願寺があり、等々力不動尊はその別院です。



⑥寺 社 等々力・等々力不動尊

広々とした敷地内は、晩秋ともなると見渡す限り落ち葉で埋め尽くされます。そんな中、休日には等々力溪谷の散策を楽しむ方々の往来が絶えず、静かな賑わいを見せます。毎年、参加者は、落ち葉焚きと焼き芋をいっしょに楽しんでいます。



1. 世田谷落ち葉ひろいりレー2026 @世田谷区本庁舎



2023年
玉川野毛町公園拡張予
定地で

2. グリーンアップサイクル・プランターの広場への設置イベント

グリーンアップサイクル・プランターとは

グリーンアップサイクルは、衣料廃棄物をゴミとしないために加工し、新たな素材として生まれ変わらせた(アップサイクル)、フェルトに似た新素材。
プランター素材としての有用性(透湿性・対候性等)は、3年間の経過観察からも明らかである。

【実施概要】

2023年 世田谷区提案型協働事業(世田谷ポートランド都市文化交流協会と庁舎管理担当課など参画)のワークショップで、グリーンアップサイクル・プランターの試作版に苗木を植付

2025年 協働事業ワークショップで、改良版プランター展示・紹介
同年の「せたがやクラファン！チャレンジ」で、103万円を集め区内数カ所にプランターを設置した

イベント実施プラン

- 開催日時：1. 世田谷落ち葉ひろいりレー開催の際に実施？
- 必要な設備・備品：プランター・用土・苗木
- 想定参加人数 ■ 運営体制：1. に準ずる

2. グリーンアップサイクル・プランターの広場への設置イベント



2026年4月撮影

3. 区のみどり関連事業の紹介イベント

区のみどり関連事業

現在、みどり政策課は2018年度からの「みどりの基本計画」改定に取り組んでおり、8月からは市民参加で「みどりの基本計画づくりワークショップ」が行われる。

同課では、さまざまな緑化助成制度（みどり創出業務）やみどり保全業務に取り組んでおり、また、公園緑地課・公園整備利活用推進課もみどり事業の中心的担い手である。

その他、たとえば左のモデル雨庭事業など、みどり33推進担当部以外のセクションでも関連事業は行われており、外郭団体の世田谷トラストまちづくりを含め、さまざまな事業主体が取り組んでいる（それゆえ全体像が分かりにくい）

イベント実施プラン

- 開催日時：11月の平日夜？
- 必要な設備・備品：本庁舎内施設で実施
- 想定参加人数：30名
- 運営体制：みどり政策課を中心に市民団体も協力？
- 実施内容：単なる事業紹介ではなく、現状を踏まえた上で「市民参加のみどりの保全・創出事業」のアイデアを出す？

世田谷区

モデル雨庭
協力者募集



対象者

- ・区内の民間施設（住宅・事業所等）の所有者または使用者
- ・雨庭（3平方メートル程度）を整備できる庭などがある
- ・整備後、植栽等の維持管理ができる
- ・区が実施する雨水貯留浸透能力調査に協力できる
- ・本事業実施のための現地確認・打合せ等への参加協力ができる

雨庭とは？

雨水を一時的にお庭にためて、地中にゆっくりしみこませること

- ✓ 浸水被害の軽減
- ✓ ヒートアイランド対策
- ✓ 生き物が集まる庭づくり

募集期間：令和8年6月15日～7月17日

お問い合わせ・お申込み

世田谷区 土木部 豪雨対策・下水道整備課 TEL：03-6432-7963
住所：東京都世田谷区玉川1-20-1 FAX：03-6432-7993
(二子玉川分庁舎B棟3階)



世田谷区本庁舎等整備事業

令和7年度(2025)

「つくってつなぐ！」新庁舎ワークショップ

実施報告書



◆ 実施概要

日 時：令和7年9月6日 土曜日

午前の部：午前10時～12時 / 午後の部：午後1時～3時30分

参加者：48名（関係者含む）

内容等：午前 ○新庁舎屋上庭園に関するワークショップ

講師：大坪 義明

・花壇で育てたい花紹介カードの制作、区民花壇の花選びなど

会場：世田谷区役所 西棟2階（世田谷区世田谷4-22-33）

午後 ○庁舎の木を活かすワークショップ

講師：湧口 義之

・庁舎の苗木探し、エントランスホールの植栽メンテナンスなど

会場：世田谷区役所 東棟1階（世田谷区世田谷4-21-27）

◆ワークショップ開催の目的

世田谷区役所では、本庁舎等整備に伴いこれまで「庁舎の木を活かす活動」や「屋上庭園の未来を考えるワークショップ」を実施してきました。

今年度のワークショップでは、令和8年11月にオープンする屋上庭園に設置される区民花壇で育てたい花を選び、紹介カードを制作しました。また、庁舎の苗木探しや植栽ユニットの植替えなど、これまで実施してきた庁舎の木を活かす活動を継承及び体験する機会をつくりました。

アクティビティを中心に、大人も子どもも楽しみながら庁舎のみどりについて一緒に考えたり、未来に繋いでいく作業体験を共有することで、新庁舎での取組みへの認知を高めるとともに、愛着をもっていただくことを目的としました。

◇午前の部◇ 「屋上庭園に関するワークショップ」

(1) 新庁舎の紹介・これまでの取組み

庁舎整備担当部庁舎管理担当課職員

区役所の建替工事の進捗や新庁舎にできる屋上庭園の説明、令和5年度より実施をしている区民参加型ワークショップでの取組みについて紹介しました。

(2) 花選びのポイント講座

講師：大坪義明（世田谷ポートランド都市文化交流協会）

屋上庭園(東棟)に設置される区民花壇で育てたい花を選ぶにあたり、「区役所の屋上という環境でどんな花を選んだら良いのか」「花壇を一年中楽しむために季節の花はどんなものがあるのか」等、みんなで楽しみながら手入れができる区民花壇を作るための“花選びのポイント”について、お話しいたしました。

<講座の様子>

実際の花苗を用いた季節の花紹介など丁寧で分かりやすい説明に真剣に耳を傾ける参加者のみなさん



(3) 花紹介カードの制作

区役所屋上の区民花壇で育てることを想定し、「①自分の好きな花」「②区民花壇がオープンする11月ごろに咲く花」について、花紹介カードを制作していただきました。実物の花苗を観察してみたり、事前に図鑑で制作したい花を調べていたりなど、各自自由に制作を進めました。制作にあたり分からないことはアドバイザーの方にもご助言いただきながら、和気あいあいとみんなで一緒に考える制作ワークとなりました。

<ワークの様子>



実物の花苗を見ながらイメージを膨らませます



参加者の皆さまの発想力に職員も驚きました



私は、こんなカードを作ってみました

<共有・意見交換>

全員で共有の時間を設けました。自分と同じ花を選んだ人を見つけたり、1人では探しきれなかった花を知れたりする貴重な時間となりました。



<最後に>

世田谷ポートランド都市文化交流協会の大坪様より、総評をいただきました。



◇午後の部◇「庁舎の木を活かすワークショップ」

講師：湧口善之（都市森林株式会社）

区では、令和3年7月の本庁舎等整備工事の開始前から、樹木診断の結果、状態が悪く、残存させることが困難な樹木や、移植の難しい樹木について、伐採・処分だけでなく、新庁舎で家具や植栽等に再活用する取組みを続けています。

今回のワークショップでは、令和3年度から令和5年度まで区民の方と一緒に作成した、①区役所敷地内で採取した苗木で制作した「植栽ユニット」、②やむを得ず伐採したけやき等を活用し作成した家具について、それぞれ、枯れてしまった苗の植替えや、家具へのオイル塗布等、メンテナンスを行いました。

〔家具の活用樹種〕

10樹種（ケヤキ、メタセコイヤ、コブシ、ヒマラヤスギ、イロハモミジ、イイギリ、カイツカイブキ、キンモクセイ、ツタ、ナツミカン）

製材所に持ち込めないようなけやきも、みんなの力で木材にしました。いま、みんなが座っている椅子も区民ワークショップで製作したものですよ



枯れた苗木を掘り起こす



新しい環境で枯れてしまった苗木たち。丁寧に掘り起こします。



苗木探し

屋外に苗木を探しに行きます。大けやきの下をよく観察してみると、けやきの苗木を見つけることができました！



苗木の植替作業

苗木を傷つけないように、全員で協力して植替え作業を行います



樹名板づくり

新しい苗木に合わせて樹名板も自分たちで作りました



新しい生命を大切に未来に繋いでいきます

けやき家具のメンテナンス

やすりを使って机の表面を研磨及びオイル塗布をしました。
やすりは木目にそって、オイルはムラがないように等、湧口さん
指導のもとメンテナンスを行いました



令和3年度からはじまったこの取組を一過性のものにするのではなく、庁舎のみどりをみんなで未来に繋いでいく、新しい循環をみんなでつくっていかれると思っています。この庁舎の木を活かす取組はこれからも続きます。

◆ワークショップを終えて

この度は、大変多くの方々にご協力を賜り、「つくってつなぐ！新庁舎ワークショップ」を無事に実施することができました。

午前中は「新庁舎屋上庭園に関するワークショップ」にて花紹介カードの制作を行い、午後は「庁舎の木を活かすワークショップ」にて植栽ユニットのメンテナンスなど盛りだくさんの内容でしたが、本当にたくさんの方々にご参加いただきました。終始和やかな雰囲気で、参加者からは「区庁舎への愛着がわいた」「来年の植栽にもぜひ関わりたい」などお言葉をいただき、担当課としては大変嬉しく思っております。

本ワークショップの開催にあたっては、区の提案型協働事業者である世田谷ポートランド都市文化交流協会の大坪義明様、都市森林株式会社の中口善之様をはじめ、多くの関係者の方々に準備段階から当日までご協力いただきました。この場を借りて御礼申し上げます。

来年度は、東棟の屋上庭園がオープンします！今回制作した花紹介カードの展示や区民花壇への花植え、樹名板制作などができたらと考えております。来年度のワークショップも参加していただけたら嬉しく思います。今後も、皆様と一緒に考えながら、貴重なご意見をいただきながら、より良い新庁舎になるよう進めていきますので、次年度以降も、ぜひ多くの方々にワークショップにご参加いただけたら幸いです。

引き続き、世田谷区本庁舎等整備に、ご理解とご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

庁舎管理担当課一同



2025年10月掲載

〒154-8504 世田谷区世田谷4-21-27
世田谷区庁舎整備担当部 庁舎管理担当課
TEL:03-5432-2074 / FAX:03-5432-3006



〈ホームページ2次元コード〉